鳥羽商船高等専門学校			開講年度	要 平成31年度 (2019年度)		授業和	科目	———— 毎事輸送 。 <i>,</i>)	安全学(H31開講無		
科目基础	機情報					1		1		- /		
科目番号			0082				科目区分	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 門 / 選択	ì		
村日笛号 0082 授業形態 講義						単位の種別と単位		<u>」,と』)</u> 修単位: 2				
			= /\ ^			対象学年 専1			2			
開設学科 海事シスラ 開設期 前期			<i>)</i> Δ-	子子以		週時間数						
開設期 削期 教科書/教材 特に指定し			1 +81	`		旭吋间数	致 2					
			専攻科 教		, 1							
担当教員			等以科 名	(貝								
到達目												
国際物流	を担う海	上輸送	の現状を	把握	するとともに、	国内外の衝撃的な	事故や災害の現状を	を把握し、	安全管理	■について ³	理解する。	
ルーブ!	リック											
				理	想的な到達レイ	ベルの目安				未到達レ	とといいの目安	
				本の国際物流の	の現状について具	日本の国際物流の現状について説			日本の国際物流の現状について訪			
					例を挙げて説		明できる			明できな	<u>۱۱</u>	
評価項目2				海状て	事輸送における 、およびその原 具体例を挙げ ^っ	る事故や災害の現 原因・対策につい て説明できる	海事輸送における事故や災害の現 状を説明できる			海事輸送における事故や災害の現 状を説明できない		
評価項目3				組		こついて、具体例	組織の安全管理を説明できる			組織の安全管理について説明できない		
学科の3	到達目標	頭目	<u>との</u> 関	係								
教育方法	<u></u> 法等											· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
概要			【海事 海技士と 国際的な	平成 3 して 貨物軸	3 0年 1年・1 D知識を有する 前送について理	2年 春 開講】 6者が、海運や国際特別をあるよう。 1年1月11日 1月11日 1月11日 1月11日 1月11日 1月1日 1	物流の知識や理解を うになること目指す	を深め、今 す。	後の物流	えについて	予測する。	
授業の進	め方・方	去	講義やデ	ィスフ	ウッションを中	心に進めていく。						
注意点			時事の貨物力	内容	について質問す	するので、新聞、二 が行われ移動するか	ユース等で日ごろ	から情報を	入手する	ること		
授業計画	面		• 與1////	0	み ノダ子帆でん	711171 (12至) 3 (2) (2)	<u> </u>	A フになる) <u></u>			
又未可以	<u> </u>	週	ı	122 114 1	-h-1770			田ブレの石				
					業内容			週ごとの到達目標				
					上輸送の現状			海上輸送の概要を知る				
					と外国為替			外国為替と運賃の関係を説明できる				
			3週 貿易				貿易保険の概要を説明できる					
	1stQ				本の貿易の現状			日本の現状について説明できる				
					と環境			環境保全と貿易の関係を理解する				
					安全と産業安全		-	労働安全について説明できる				
		7 <u>i</u>			経営と安全管理			災害コストや労災保険について説明で			て説明でき	る
		8ì	周	安全	委員会(安全衛	前生委員会)		設置が必要な業種・規模を説明できる				
前期		9ì	9週 罗		教育の意義			安全教育について説明できる				
		10	10週		点検と職場巡回	1		点検と職場巡回について説明できる				
		11	11週 労		安全衛生マネシ	ジメントシステム	労働安全衛生マネジメントシステムについて説 る				いて説明でき	
	2ndQ	12	12週		クアセスメント	<u> </u>		リスクアセスメントをグループで実施し、リスク ができる				、リスク評価
	Znaq	1.3	·-		かず お 世 世 伝			災害の原因メカニズムを説明できる				
					の真相把握 の分析							
					の分析	トフ巛宝吋・L	災害分析方法を説明でき					
					・設備要因によ	トの火舌防止	機能の安全評価を説明で			元明 じさる		
	<u> </u>		5週 一 / ①	定期								
	<u> </u>	ナーユ	1	子苩	内容と到達		_				, -	I
<u>分類</u>			分野		技術者倫理 (知的財産、 法令順可・ 持続可いおよ で技術史	学習内容の到達目標 説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動			者の行動	到達レベル 4	∠ 授業週 	
基礎的能力						に関する基本的な責任事項を説明できる。 情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権 どの法律について説明できる。			著作権な	4		
			技術者(知的財法令順等	倫理		国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説しきる。			を説明で	4		
	カ カ 工学!	基礎		材産、 (守、 「能性 ())およ		知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。				4		
										4		
						技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。				4		
						全ての人々が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。				4		
評価割る	 ' 合					- -						
<u>- 1 1mm H 2 F</u>		試験		発	 表	相互評価	態度	ポートフ	ォリオ	その他		 計
総合評価		40		0		0	5	40		15	10	
120円PFЩ	חים					10	12	1 10		1 + 5	110	, ,

基礎的能力	30	0	0	5	30	15	80
専門的能力	10	0	0	0	10	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0